

2020年12月の
国内向け／輸出向け出荷の動向
図表集

2021年2月5日

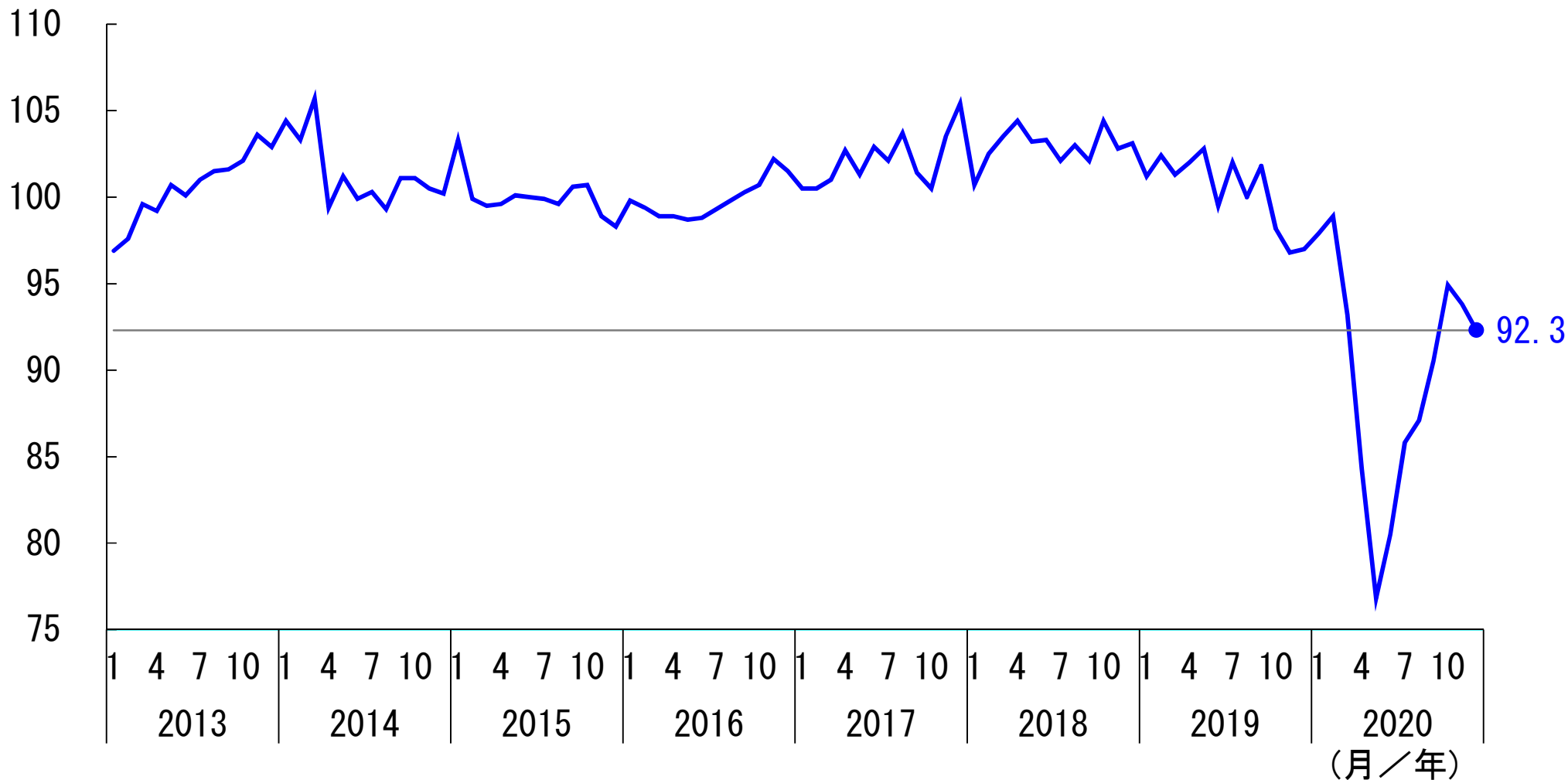
経済解析室

URL : <https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/utiwake/result-1.html>

鉍工業出荷指数の動向

・ 2020年12月の鉍工業出荷指数は92.3(前月比-1.6%)と2か月連続の低下。

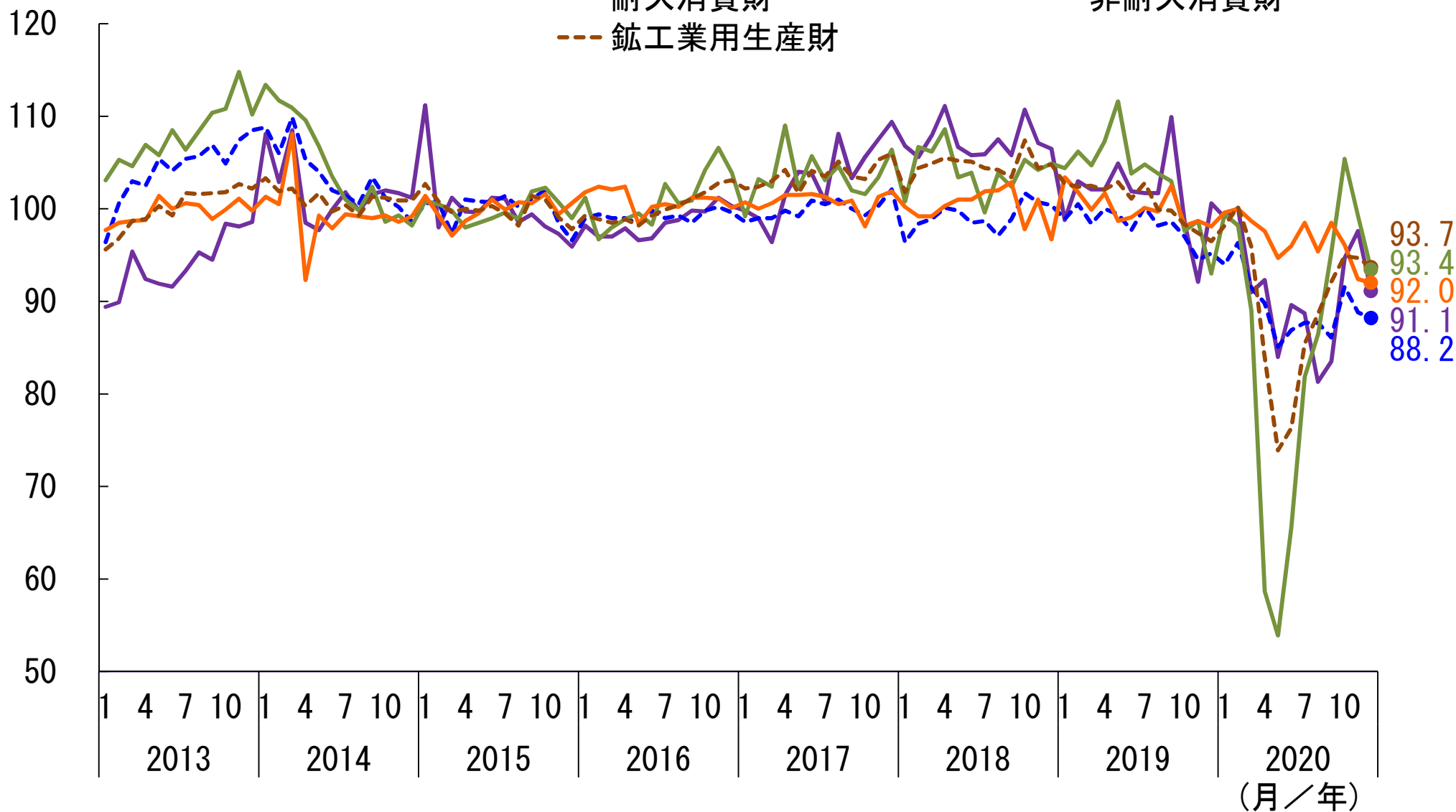
(2015年=100、季節調整済)



財別出荷指数の動向

(2015年=100、季節調整済)

- 資本財(除. 輸送機械)
- 耐久消費財
- - 鉱工業用生産財
- - 建設財
- 非耐久消費財



2020年12月の鉱工業出荷内訳表の状況

出荷・国内向け出荷・輸出向け出荷

月次	出 荷	輸 出	国 内
季調済指数 前月比	92.3 -1.6%	94.9 -2.2%	91.7 -1.5%
指数水準	2020. 9 90.5以来 ①2020. 5 76.8 ②2020. 6 80.5 ③2020. 4 84.3	2020. 10 94.7以来 ①2020. 5 70.6 ②2020. 6 74.9 ③2020. 4 77.7	2020. 9 91.6以来 ①2020. 5 78.8 ②2020. 6 82.4 ③2020. 4 86.3
前月比の動き	2か月連続— (2020.11～当月)	7か月ぶり— (2020.5以来)	2か月連続— (2020.11～当月)
前月比幅	2020. 5 -8.9%以来 ①2020. 4 -9.5% ②2020. 5 -8.9% ③2014. 4 -6.0%	2020. 5 -9.1%以来 ①2020. 3 -14.5% ②2020. 4 -12.6% ③2020. 5 -9.1%	2020. 11 -1.5%以来 (超)2020. 5 -8.7%以来 ①2020. 5 -8.7% ②2020. 4 -8.6% ③2014. 4 -7.6%

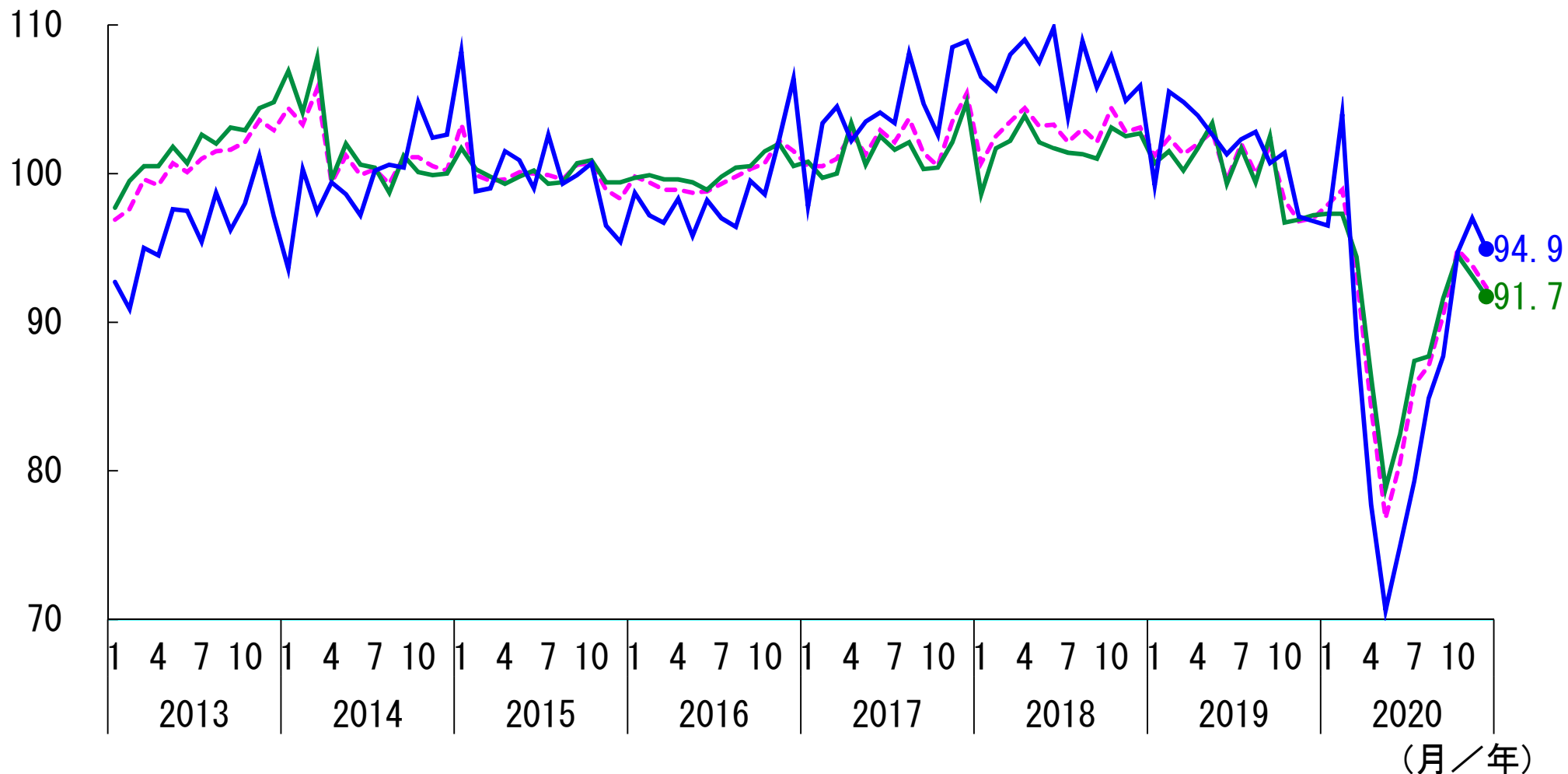
1) ①～③は2015年基準における最小値から下位3位までの数値

国内向け／輸出向け出荷の動向

・2020年12月の鉱工業出荷を国内向け／輸出向け別にみると、国内向けは91.7(前月比-1.5%)と2か月連続の低下、輸出向けは94.9(前月比-2.2%)と7か月ぶりの低下。

(2015年=100、季節調整済)

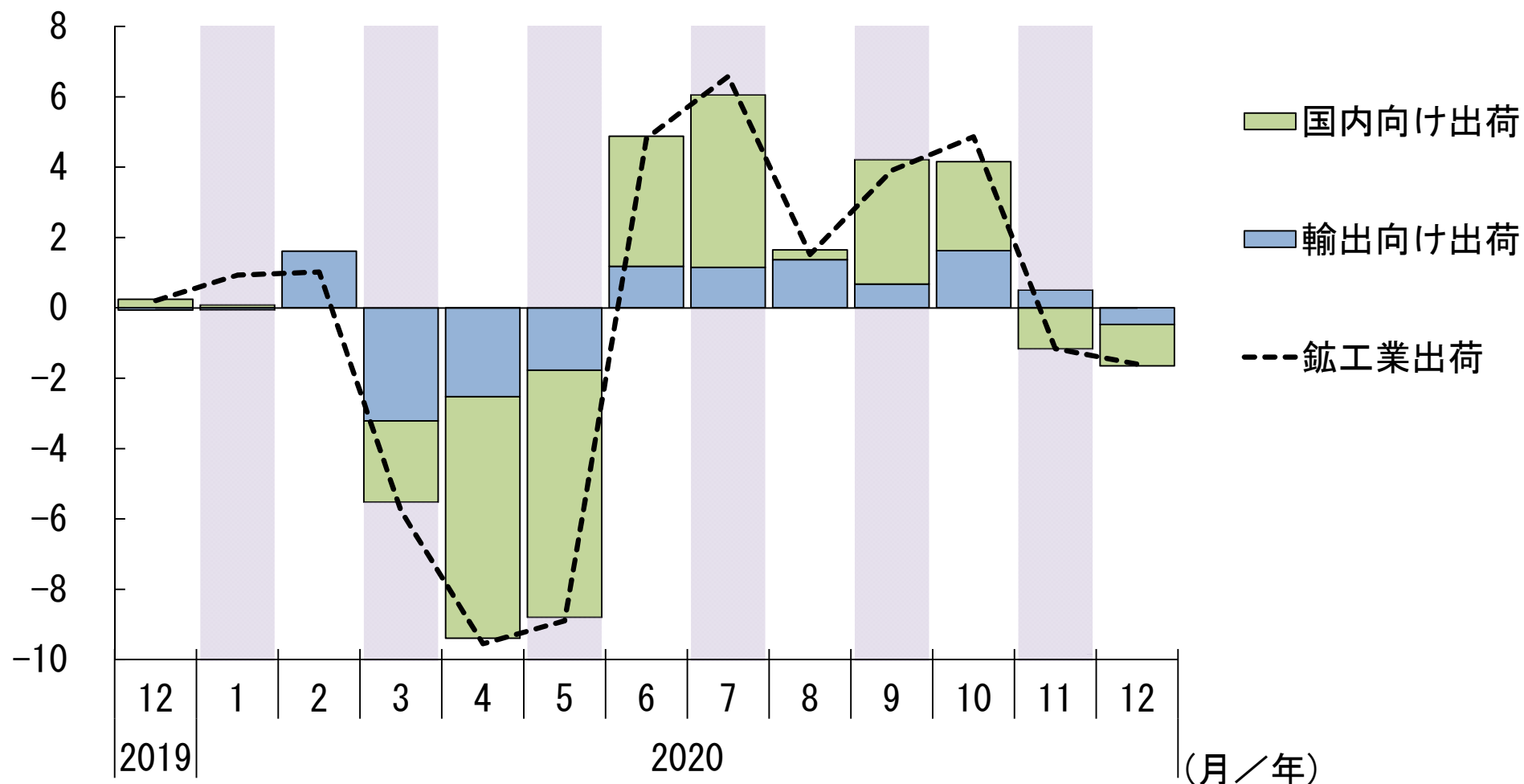
--- 鉱工業出荷 — 国内向け — 輸出向け



鉍工業出荷前月比 国内向け／輸出向け別の影響度合い

・2020年12月の鉍工業出荷は国内向け、輸出向けともに低下したため、前月比-1.6%の低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

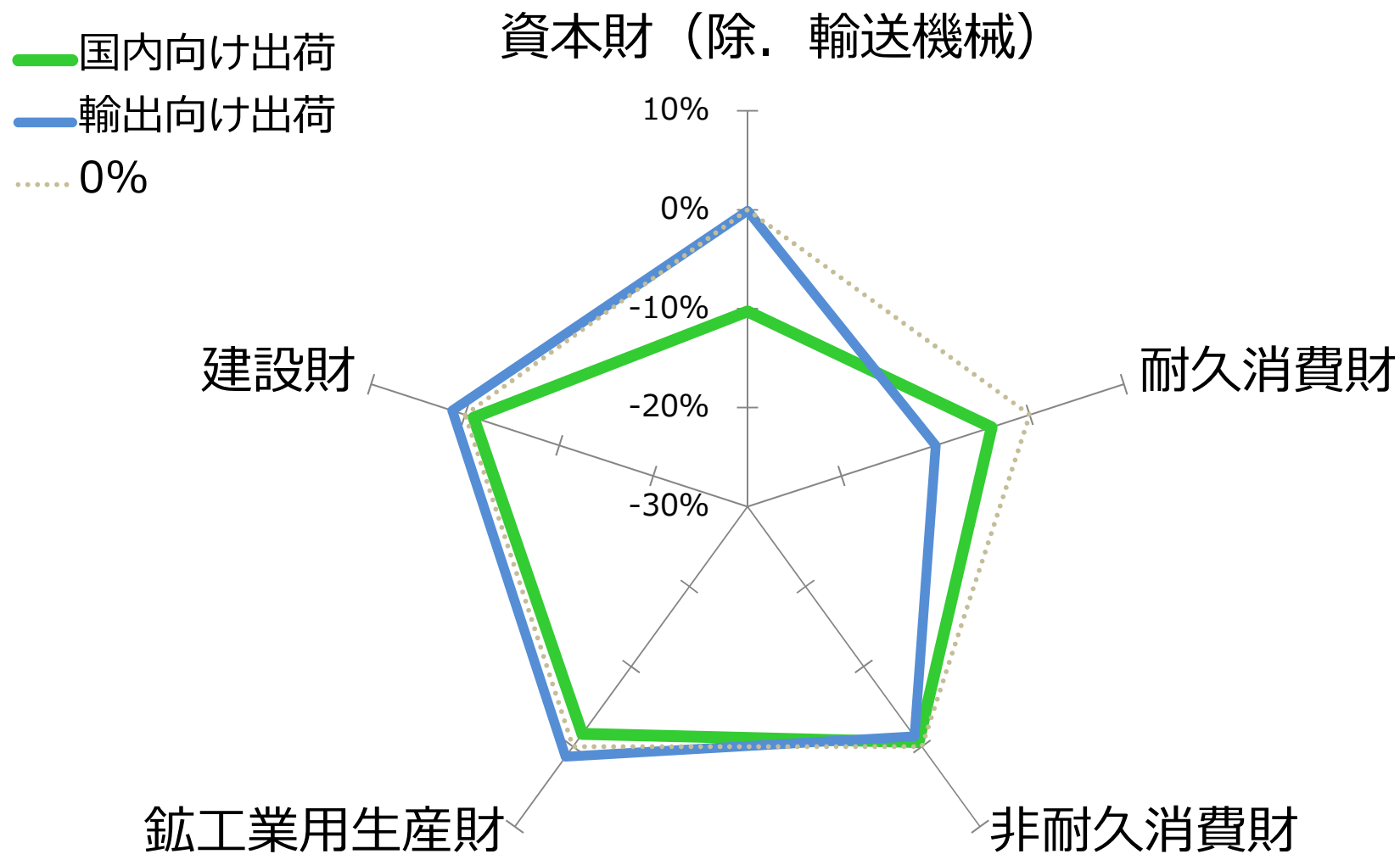


主要業種、財の出荷前月比 国内／輸出向け出荷の影響度合い

業種別分類	出荷前月比 (%)	国内寄与度 (%ポイント)	輸出寄与度 (%ポイント)
鉄鋼・非鉄金属工業	0.3	-0.20	0.17
生産用機械工業	-1.7	-3.48	1.27
汎用・業務用機械工業	-10.1	-11.34	1.69
電気・情報通信機械工業	-5.1	-3.28	-1.89
輸送機械工業	-2.3	2.01	-3.86
化学工業(除. 医薬品)	-0.7	-0.50	-0.45

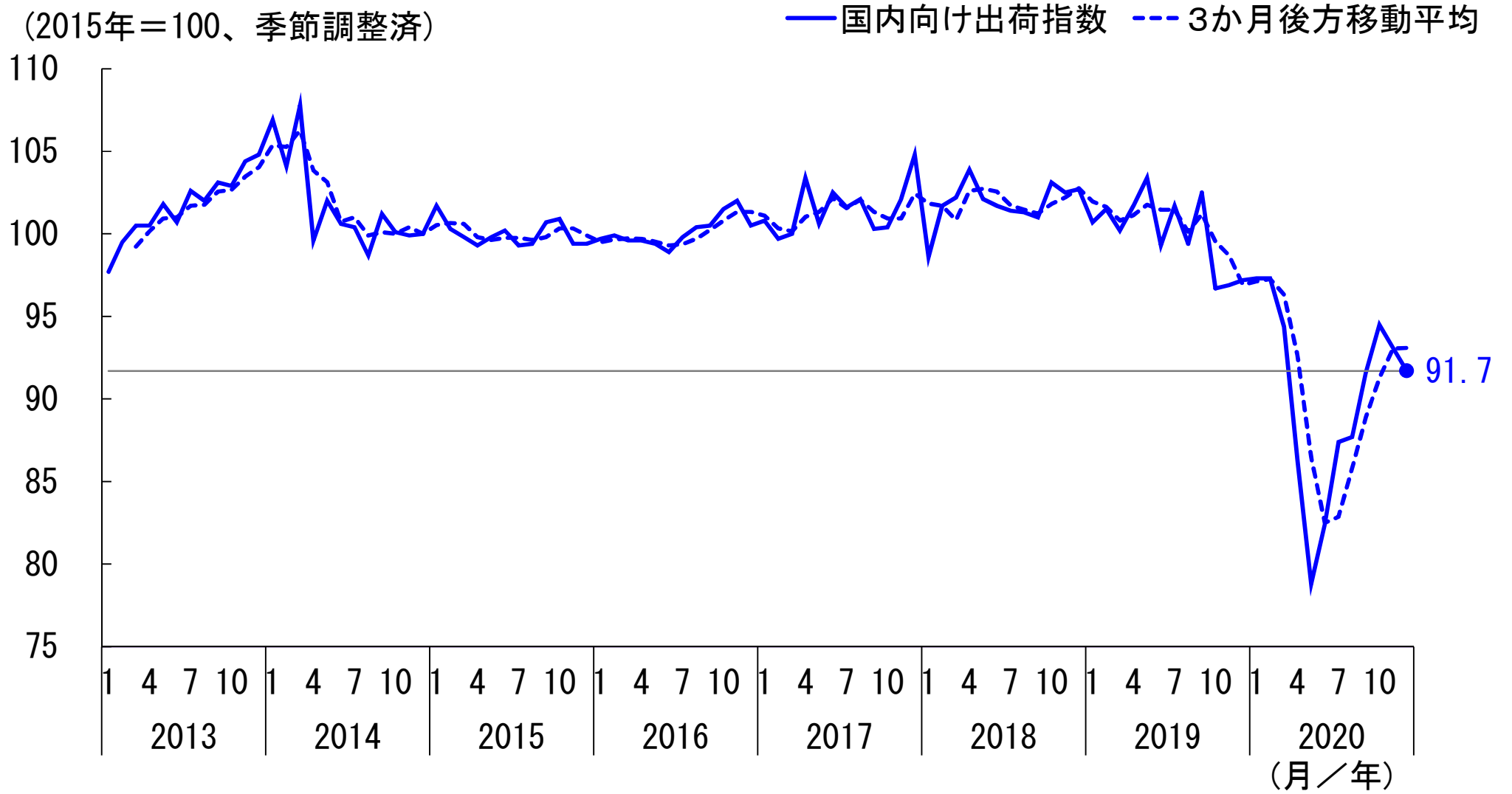
財別分類	出荷前月比 (%)	国内寄与度 (%ポイント)	輸出寄与度 (%ポイント)
鉱工業用生産財	-1.1	-1.20	0.31
資本財(除. 輸送機械)	-6.7	-6.58	-0.04
建設財	-0.7	-0.84	0.10
耐久消費財	-5.9	-3.10	-2.38
非耐久消費財	-0.4	-0.53	-0.06

国内向け／輸出向け財別出荷指数前月比比較(2020年12月)



国内向け出荷指数の動向

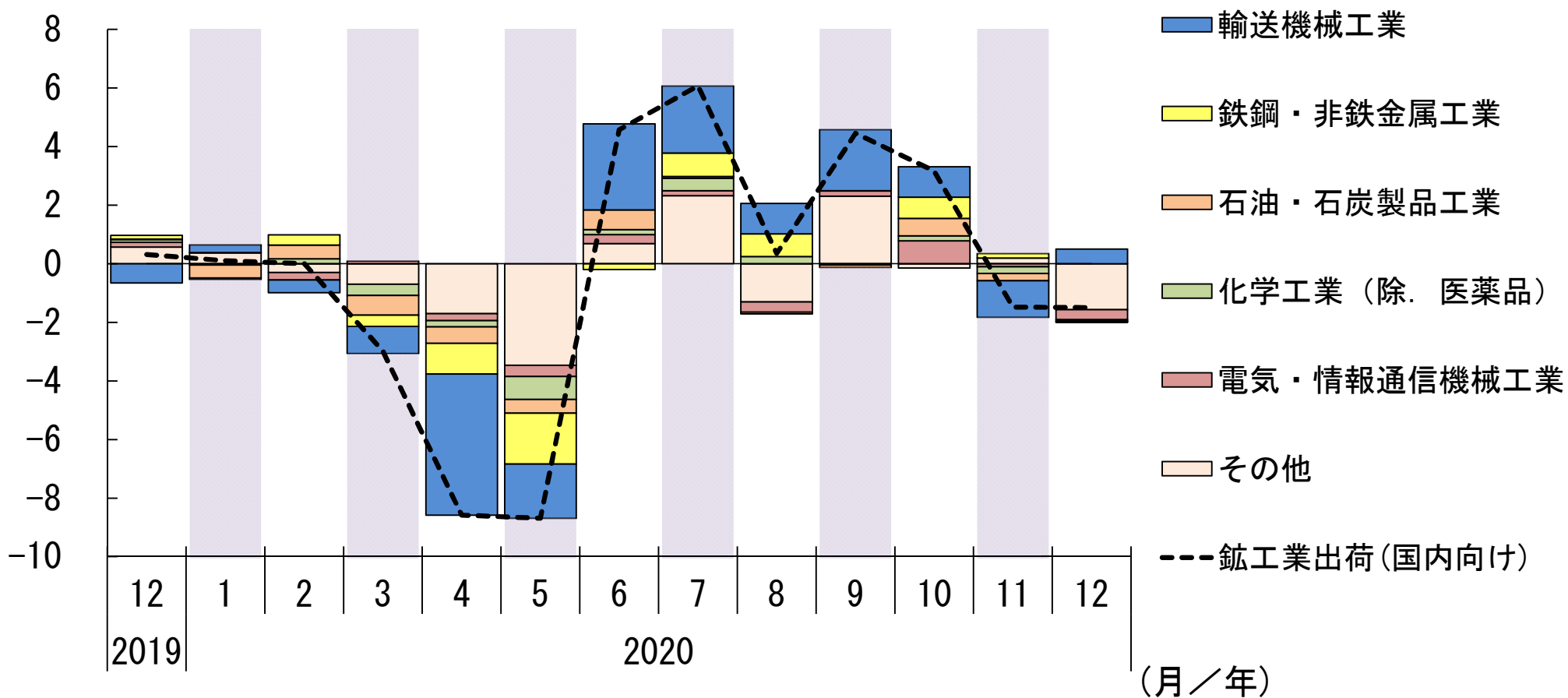
・ 2020年12月の国内向け出荷指数は91.7(前月比-1.5%)と2か月連続の低下。



国内向け出荷前月比 業種別の影響度合い

・ 2020年12月の国内向け出荷を主要業種別にみると、輸送機械工業が上昇したものの、電気・情報通信機械工業などが低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

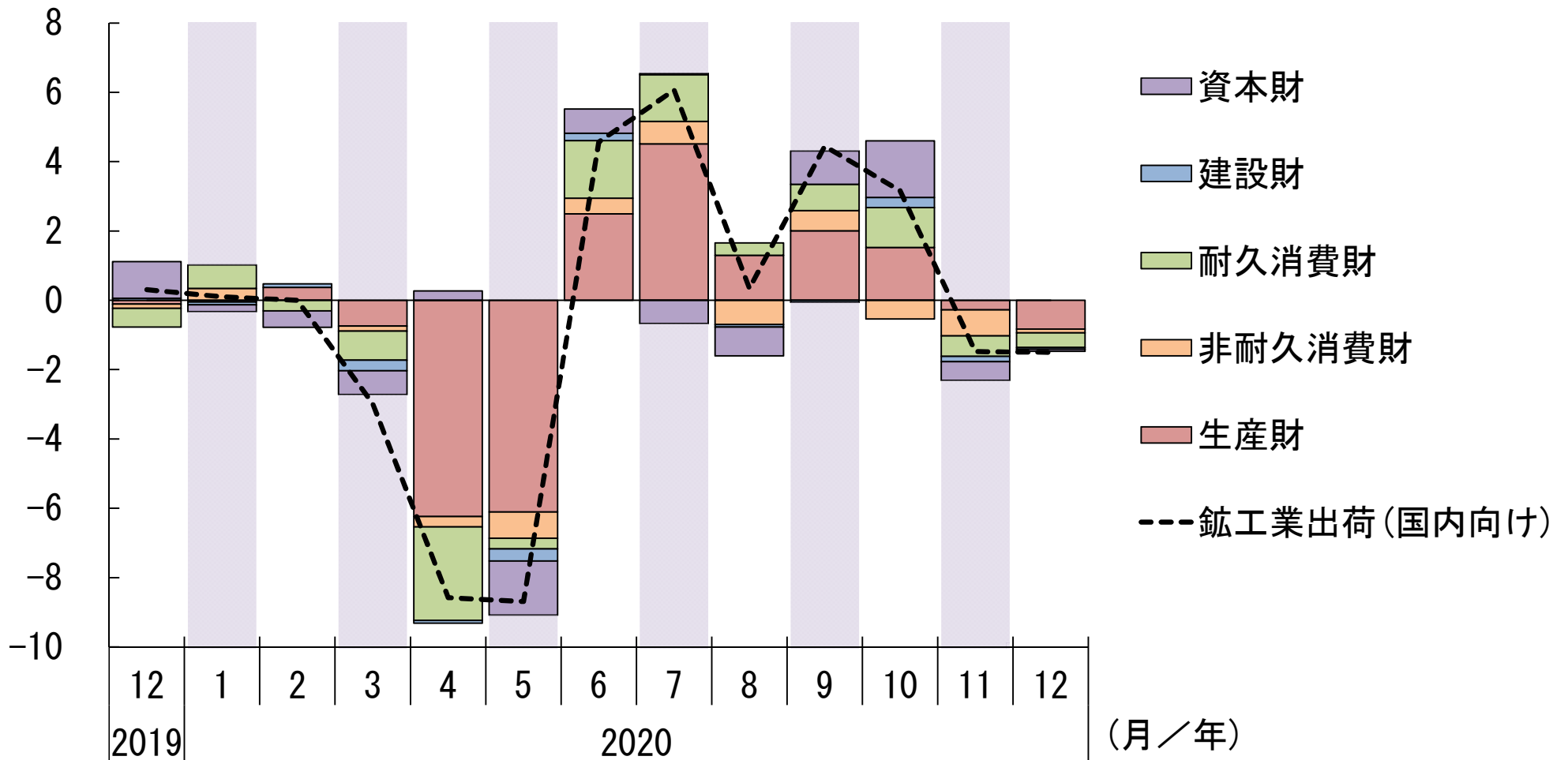


(注) 主要業種とは、国内向け出荷(ウエイト7896.12)のうち、ウエイトが大きい5業種を選定。
 具体的には、輸送機械工業(国内向け、ウエイト1193.18)、鉄鋼・非鉄金属工業(同、同786.21)、石油・石炭製品工業(同、同664.82)、化学工業(除. 医薬品)(同、同629.02)、電気・情報通信機械工業(同、同607.02)。

国内向け出荷前月比 財別の影響度合い

・ 2020年12月の国内向け出荷を財別にみると、生産財などが低下。

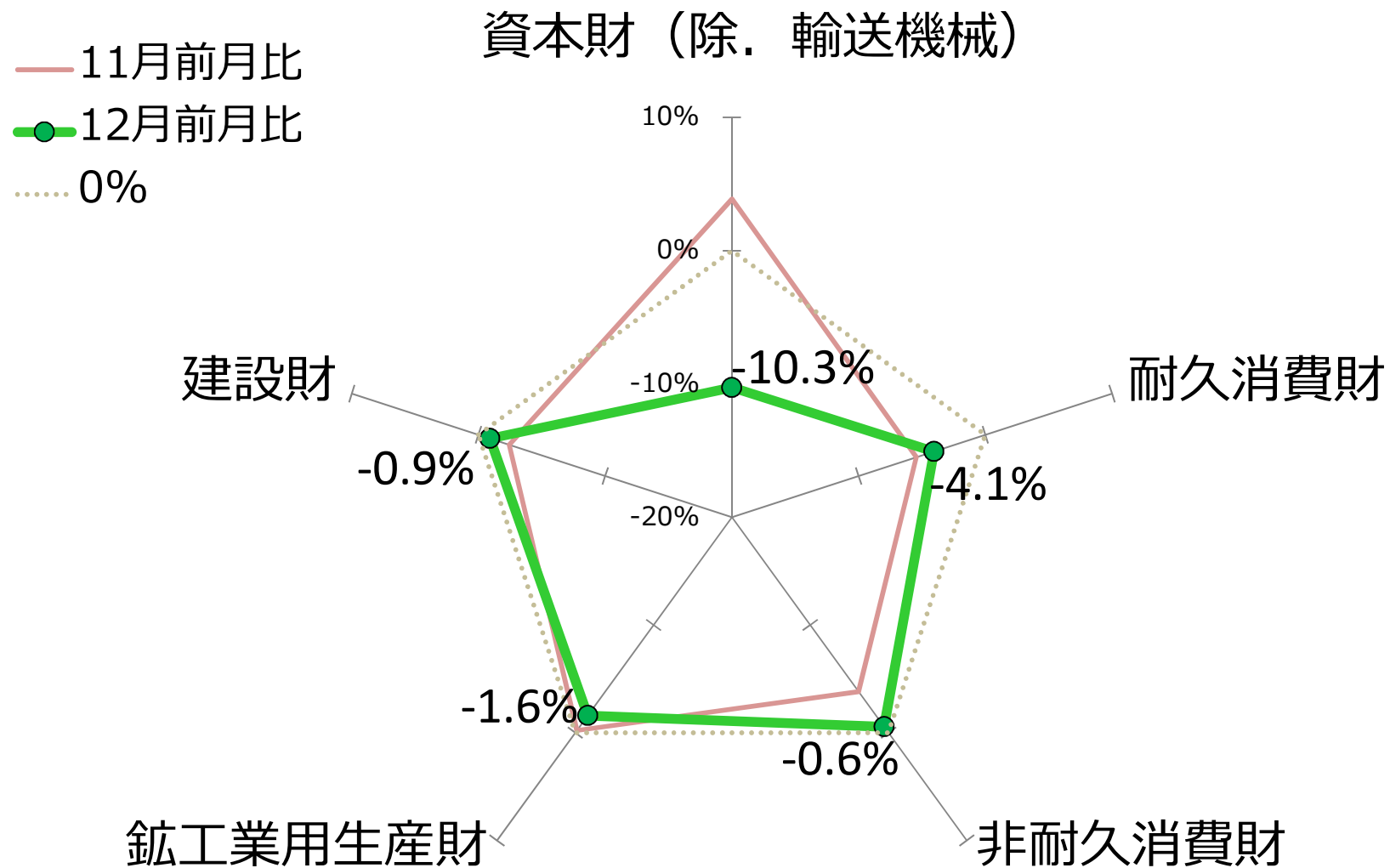
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



2020年12月の国内向け出荷前月比 財別の影響度合い

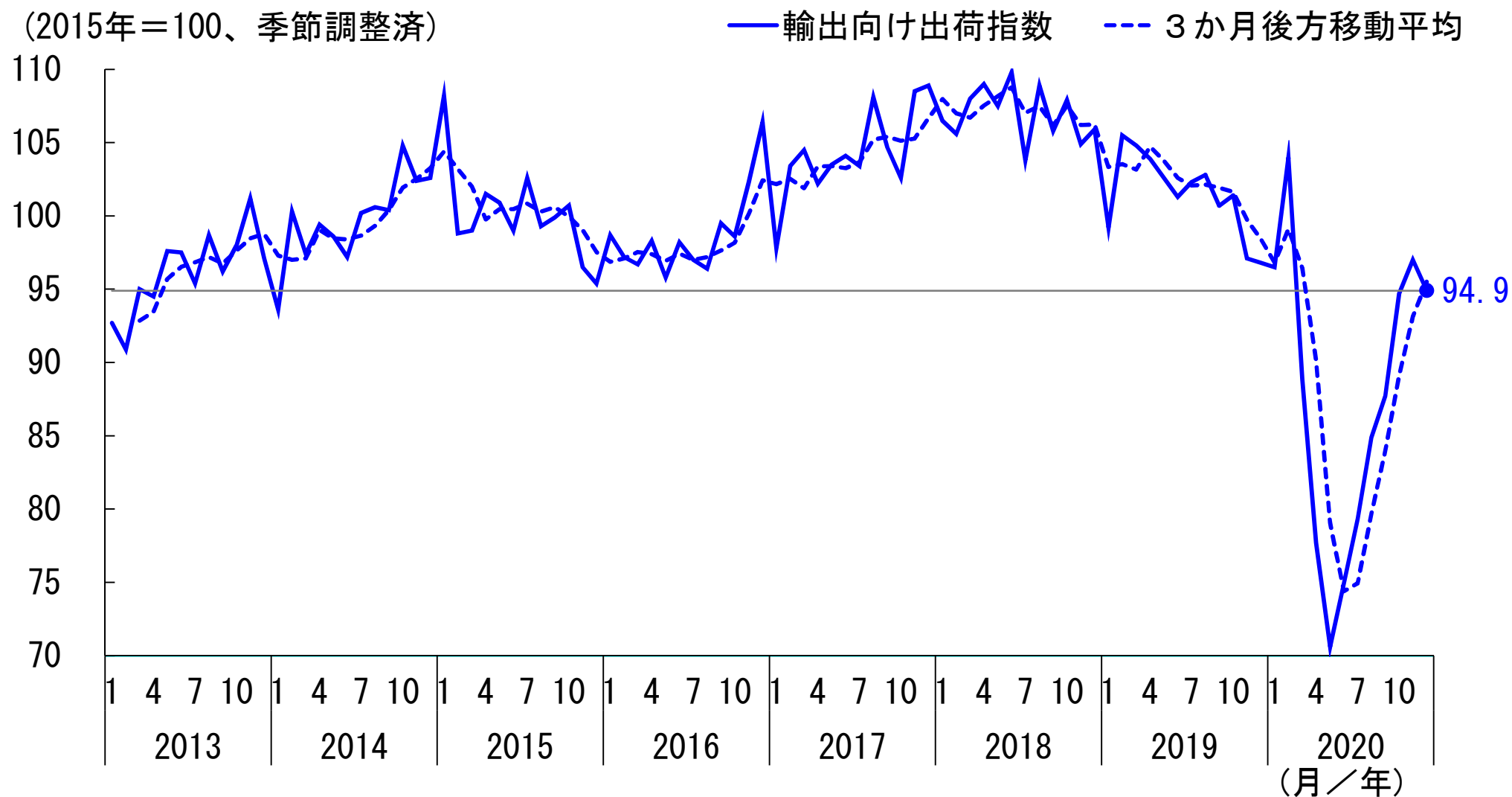
財別分類	前月比(%)	寄与度
鉱工業	-1.5	—
資本財(除. 輸送機械)	-10.3	-1.01
鉱工業用生産財	-1.6	-0.69
耐久消費財	-4.1	-0.42
非耐久消費財	-0.6	-0.11
その他用生産財	-1.0	-0.07
建設財	-0.9	-0.06

国内向け財別出荷指数前月比の比較(2020年11月、12月)



輸出向け出荷指数の動向

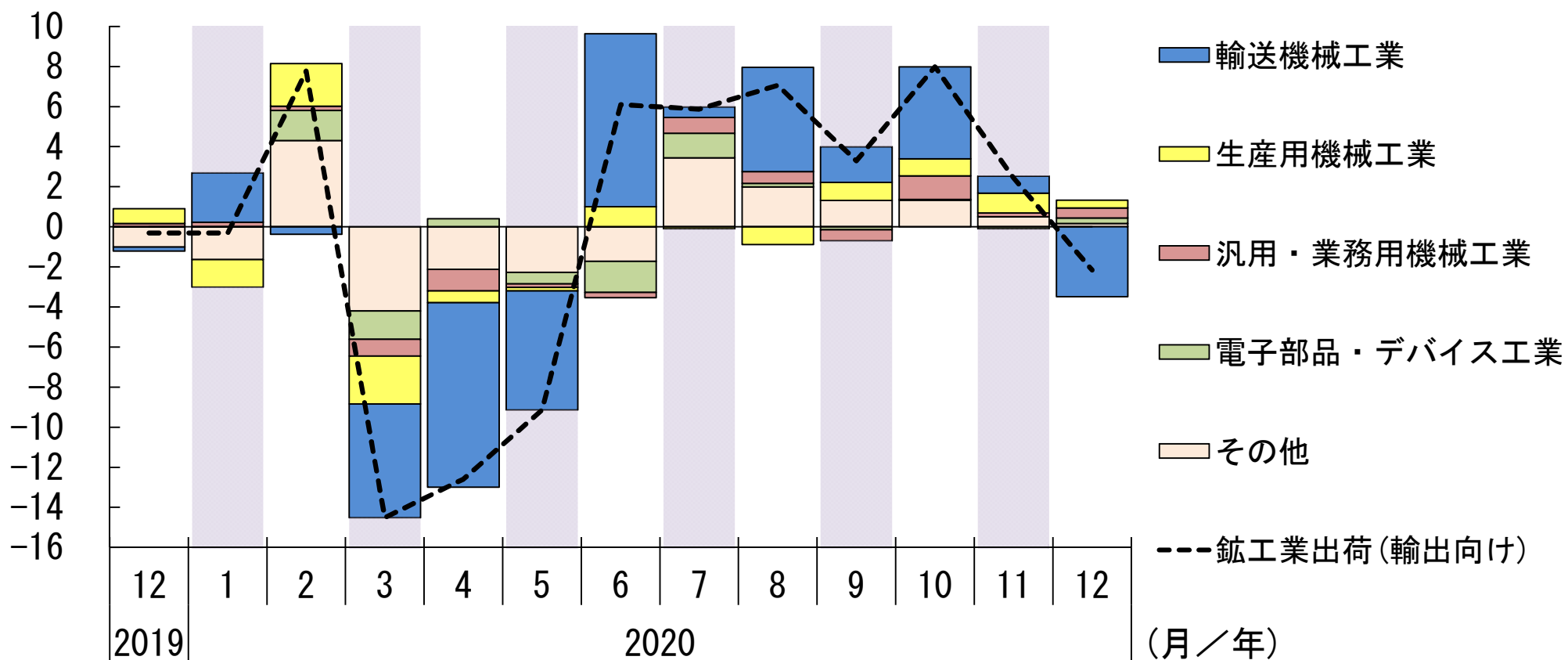
・ 2020年12月の輸出向け出荷指数は94.9(前月比-2.2%)と7か月ぶりの低下。



輸出向け出荷前月比 業種別の影響度合い

・ 2020年12月の輸出向け出荷を主要業種別にみると、汎用・業務用機械工業などが上昇したものの、輸送機械工業が低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

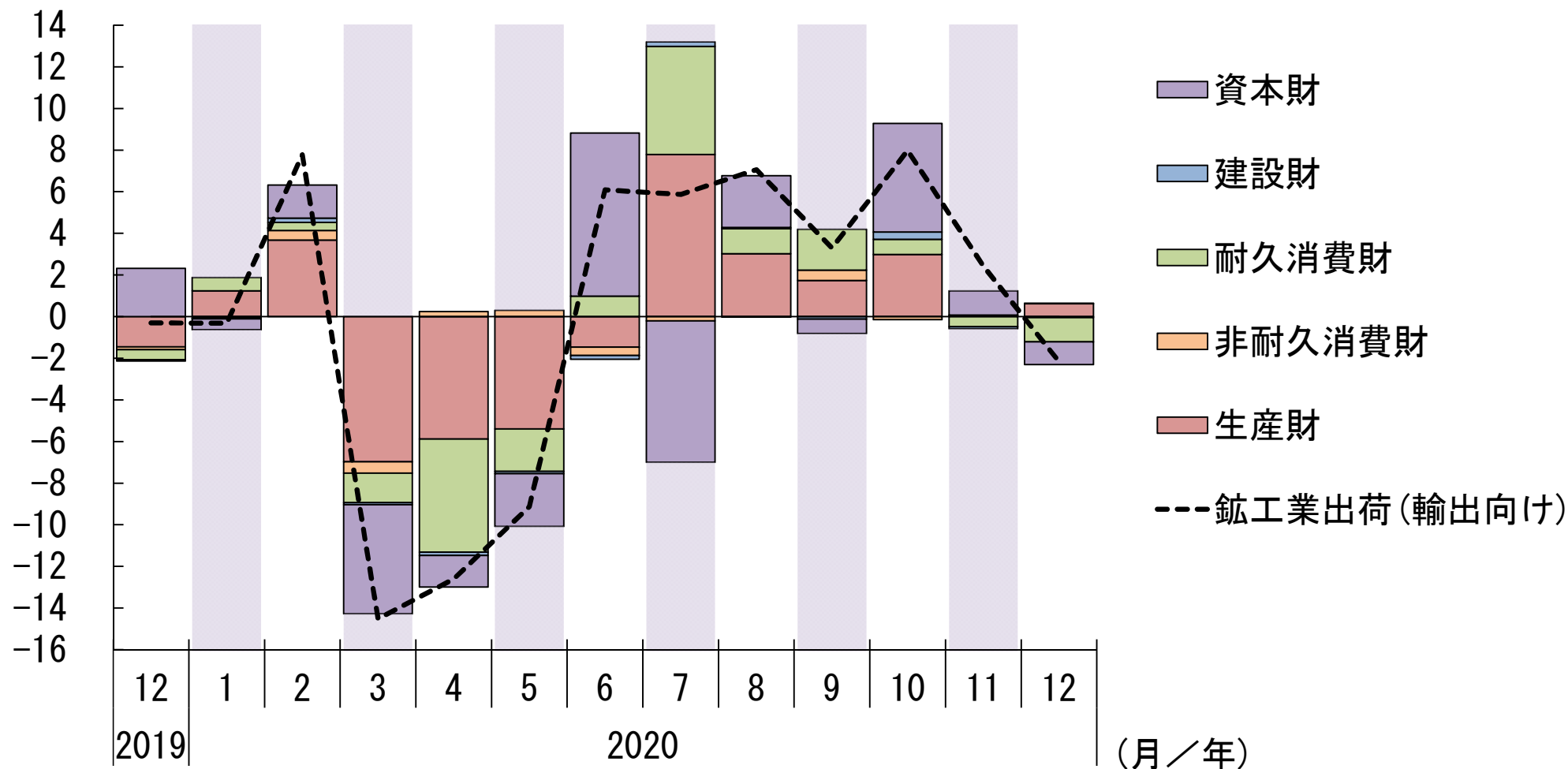


(注)主要業種とは、輸出向け出荷(ウエイト2103.88)のうち、ウエイトが大きい業種(上位4業種)を選定。
 具体的には、輸送機械工業(輸出向け、ウエイト678.22)、生産用機械工業(同、同270.38)、汎用・業務用機械工業(同、同218.87)、電子部品・デバイス工業(同、同186.86)の4業種。

輸出向け出荷前月比 財別の影響度合い

・ 2020年12月の輸出向け出荷を財別にみると、生産財などが上昇したものの、耐久消費財などが低下。

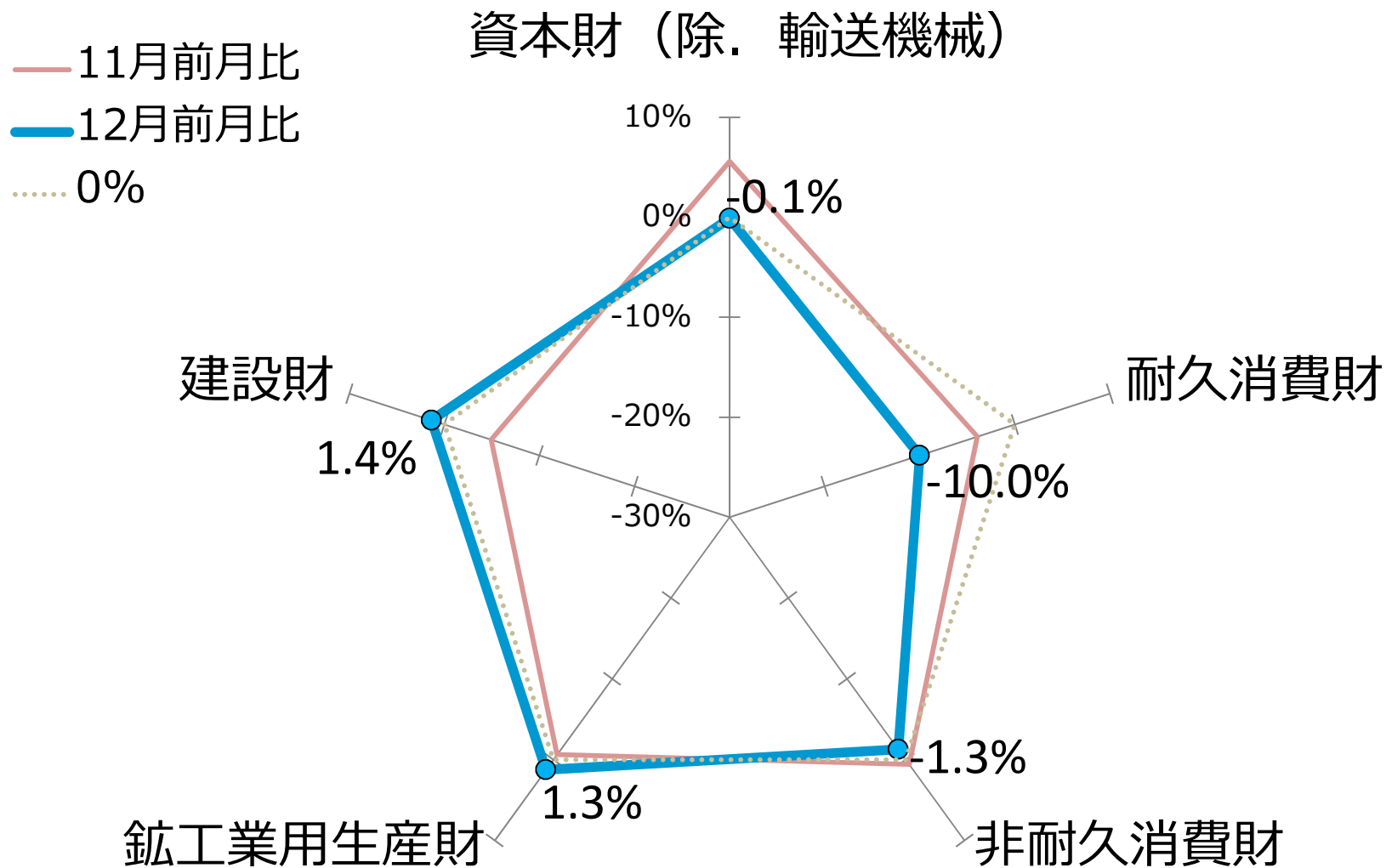
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



2020年12月の輸出向け出荷前月比 財別の影響度合い

財別分類	前月比(%)	寄与度
鉱工業	-2.2	—
耐久消費財	-10.0	-1.17
非耐久消費財	-1.3	-0.04
資本財(除. 輸送機械)	-0.1	-0.02
建設財	1.4	0.02
その他用生産財	6.7	0.10
鉱工業用生産財	1.3	0.65

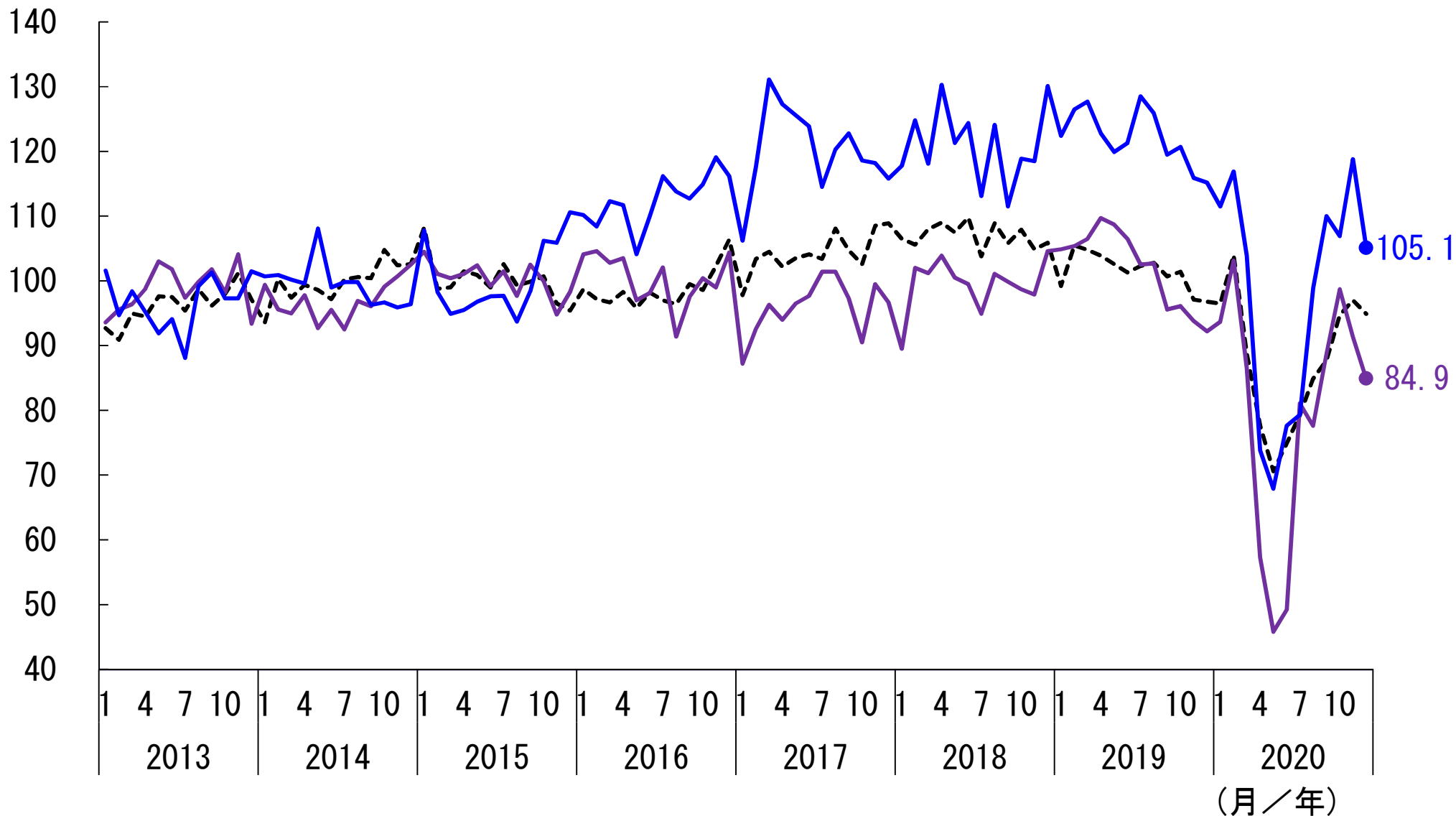
輸出向け財別出荷指数前月比の比較(2020年11月、12月)



欧米向け出荷指数の動向

(2015年=100、季節調整済)

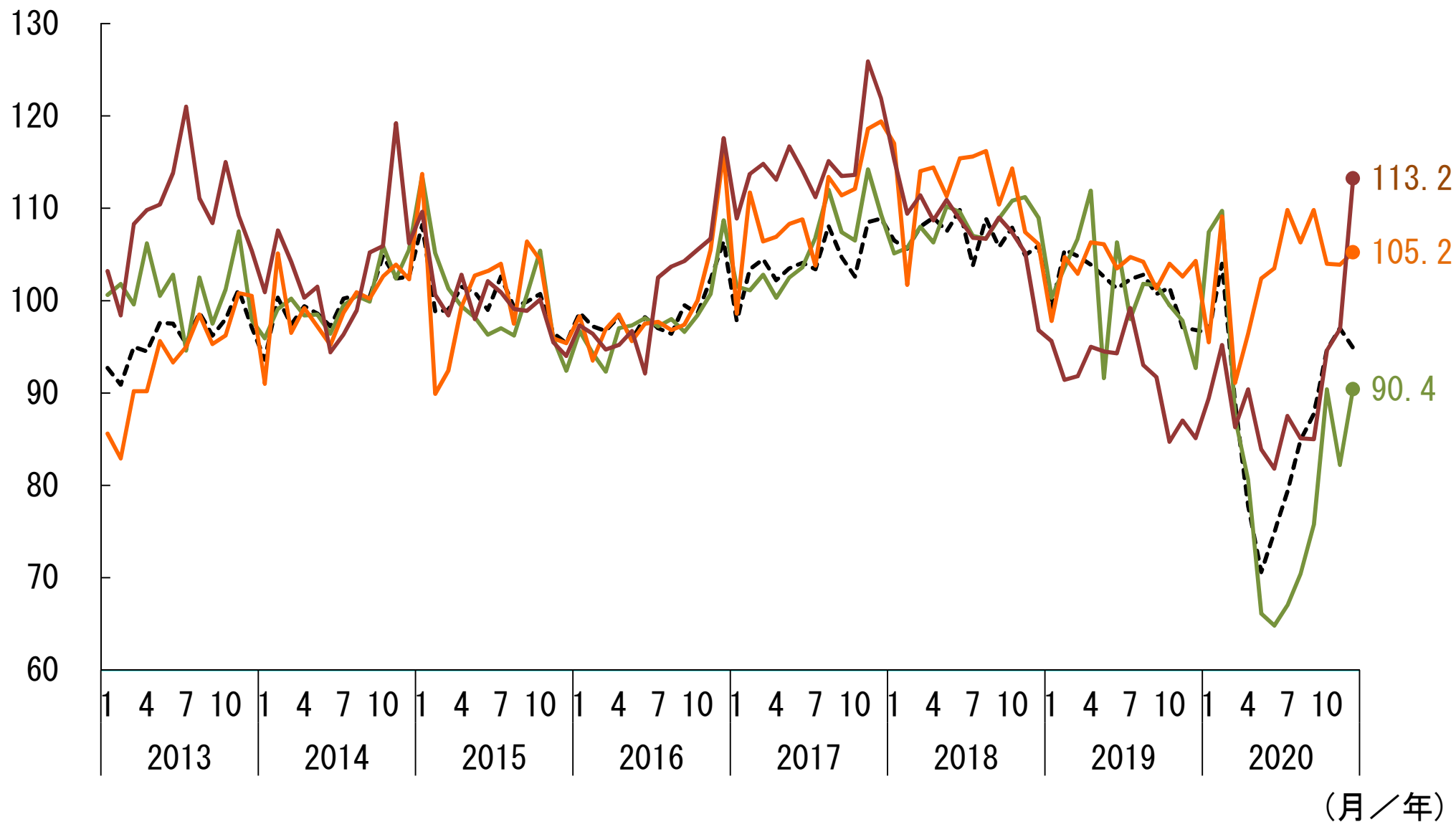
--- 輸出向け出荷 — 米国向け — 欧州向け



(注) 貿易統計に基づく試算値

アジア向け出荷指数の動向

(2015年=100、季節調整済) --- 輸出向け出荷 — ASEAN向け — 中国向け — 韓国向け

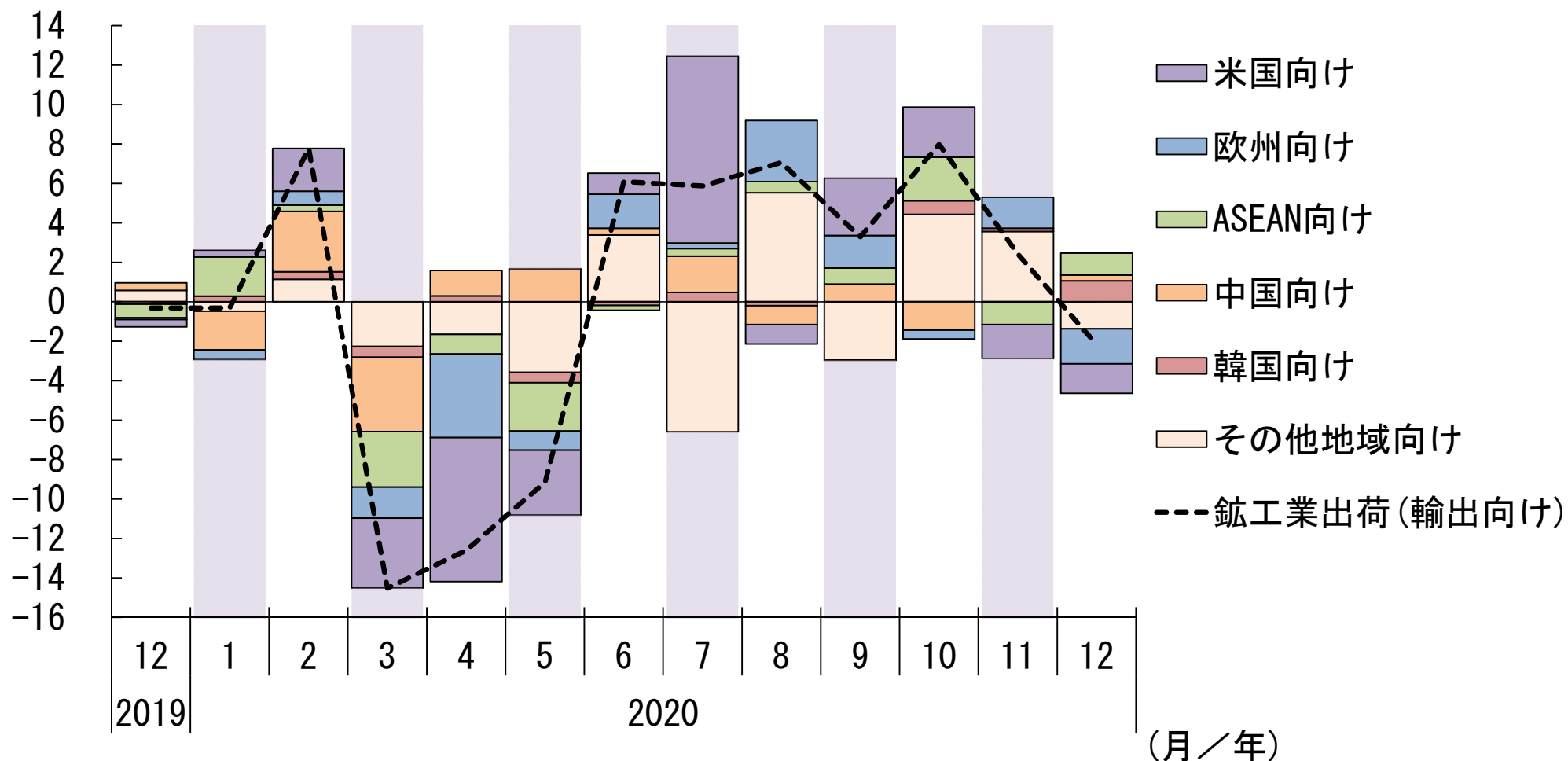


(注) 貿易統計に基づく試算値

輸出向け出荷前月比 地域別の影響度合い

・ 2020年12月の輸出向け出荷を地域別にみると、ASEAN向けなどが上昇したものの、欧州向けなどが低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



(注) 貿易統計に基づく試算値

2020年12月の鉱工業総供給表の状況

総供給・国産品供給・輸入品供給

月次	総供給	国産	輸入
季調済指数 前月比	92.1 -1.3%	91.9 -1.4%	92.5 -2.0%
指数水準	2020.9 91.0以来 ①2020.5 81.4 ②2020.6 84.0 ③2020.7 87.5	2020.9 91.7以来 ①2020.5 78.9 ②2020.6 82.5 ③2020.4 86.4	2020.9 90.3以来 ①2020.2 84.9 ②2020.6,7 87.8 ③2020.8 88.5
前月比の動き	2か月連続— (2020.11～当月)	2か月連続— (2020.11～当月)	2か月連続— (2020.11～当月)
前月比幅	2020.11 -1.6%以来 ①2020.5 -9.4% ②2014.4 -8.2% ③2018.1 -5.9%	2020.11 -1.4%以来 (超)2020.5 -8.7%以来 ①2020.5 -8.7% ②2020.4 -8.5% ③2014.4 -7.7%	2020.5 -11.5%以来 ①2020.2 -13.5% ②2020.5 -11.5% ③2014.4 -10.5%

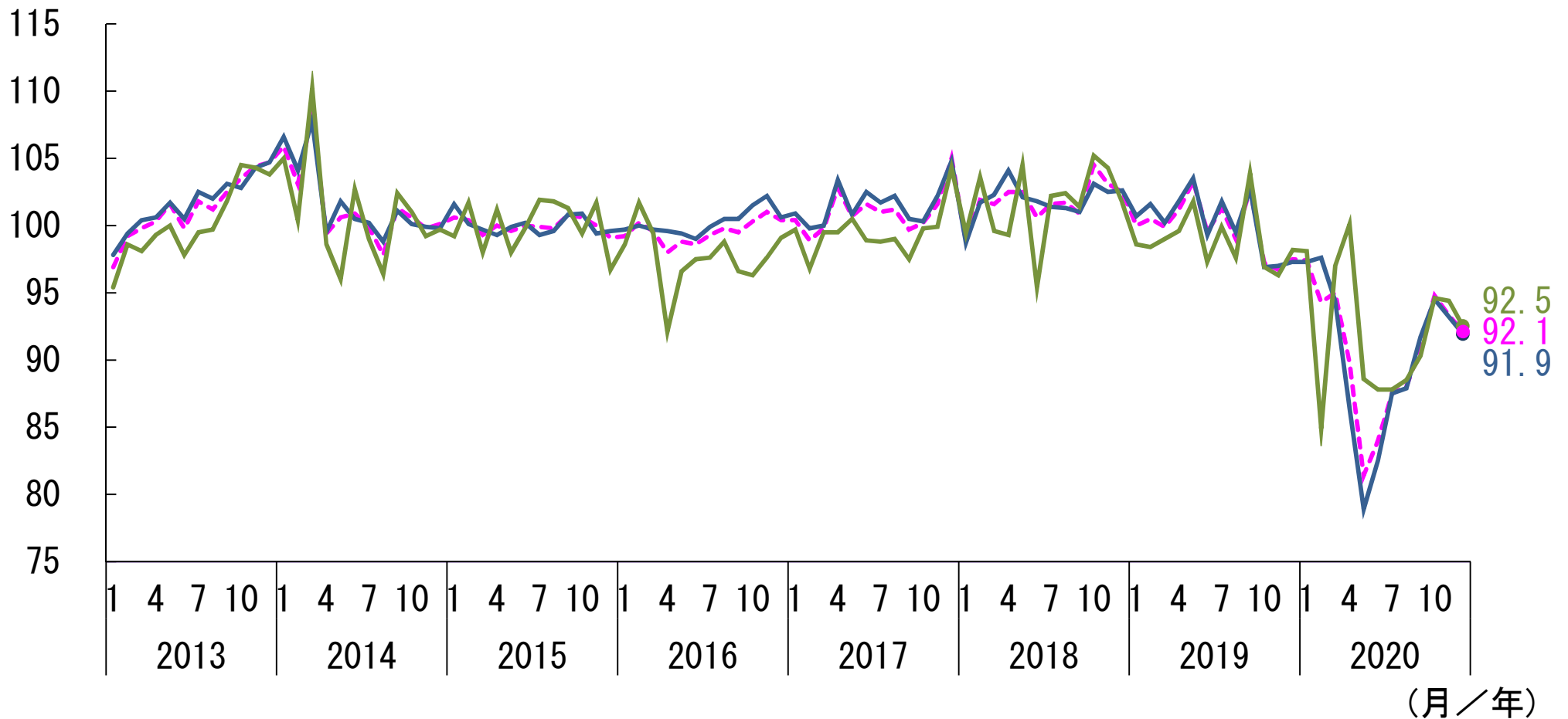
1) ①～③は2015年基準における最小値から下位3位までの数値

鉍工業総供給指数の動向

・2020年12月の鉍工業総供給指数は92.1(前月比-1.3%)と2か月連続の低下。
 ・内訳をみると、国産は91.9(前月比-1.4%)と2か月連続の低下、輸入は92.5(前月比-2.0%)と2か月連続の低下。

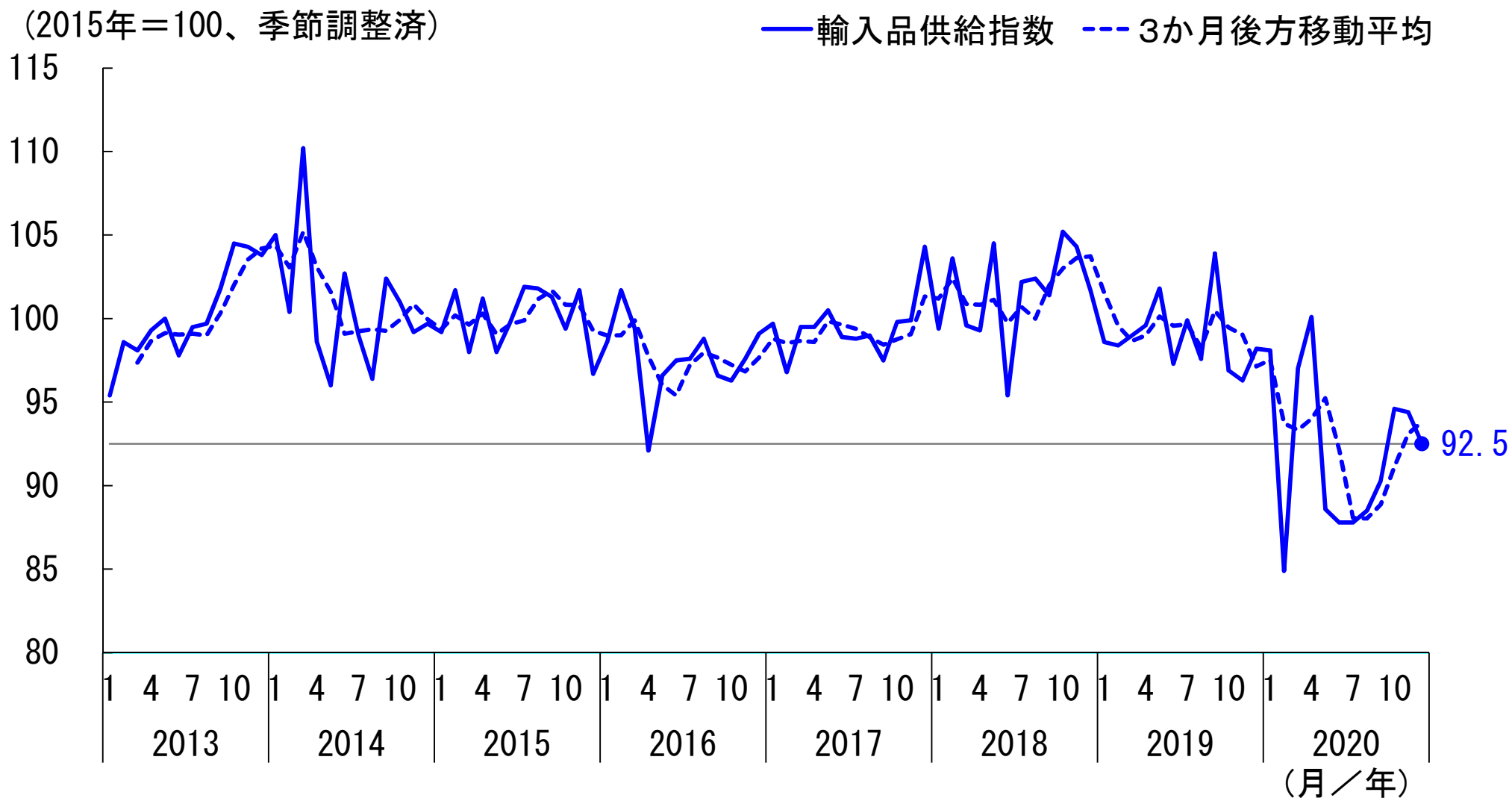
(2015年=100、季節調整済)

--- 鉍工業総供給 — 国産 — 輸入



輸入品供給指数の動向

・ 2020年12月の輸入品供給指数は92.5(前月比-2.0%)と2か月連続の低下。



2020年10-12月期の鋳工業出荷内訳表の状況

出荷・国内向け出荷・輸出向け出荷

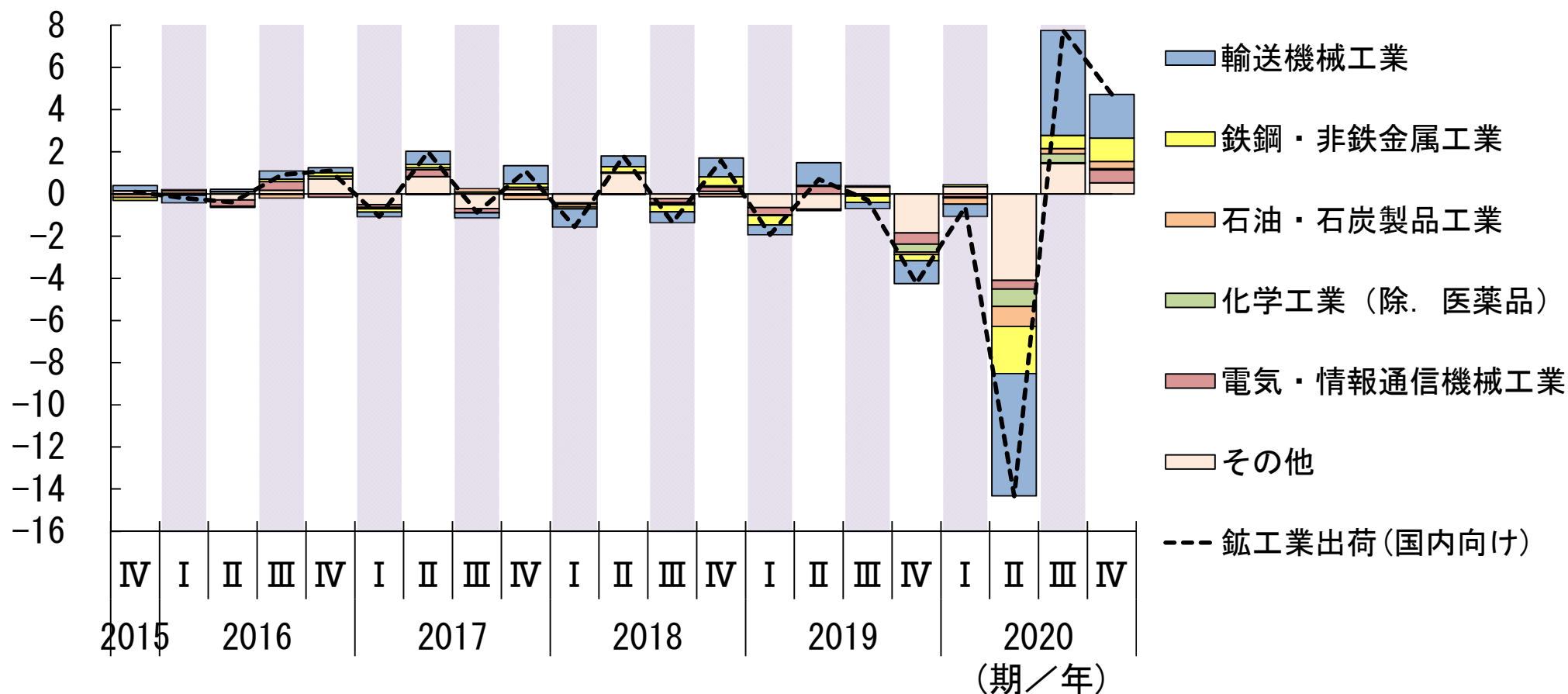
四半期	出 荷	輸 出	国 内
季調済指数 前期比	93.7 6.7%	95.5 13.7%	93.1 4.7%
指数水準	2020 I 96.7以来 I 2014 I 104.5 II 2018 II 103.6 III 2018 IV 103.4	2020 I 96.5以来 I 2018 II 108.8 II 2017 IV, 2018 I 106.7 III 2018 III, IV 106.2	2020 I 96.3以来 I 2014 I 106.3 II 2013 IV 104.0 III 2018 IV 102.8
前期比の動き	2期連続+ (2020 III ~ 当期)	2期連続+ (2020 III ~ 当期)	2期連続+ (2020 III ~ 当期)
前期比幅	2020 III 9.1%以来 I 2020 III 9.1% II 2020 IV 6.7% III 2013 II 2.0%	2015年基準最高水準 I 2020 IV 13.7% II 2020 III 12.9% III 2016 IV 4.9%	2020 III 7.8%以来 I 2020 III 7.8% II 2020 IV 4.7% III 2014 I 2.2%

1) I ~ IIIは2015年基準における最大値から上位3位までの数値

国内向け出荷前期比 業種別の影響度合い

・ 2020年10-12月期の国内向け出荷を、主要業種別にみると、輸送機械工業などが上昇。

(季節調整済、前期比、%、%ポイント)

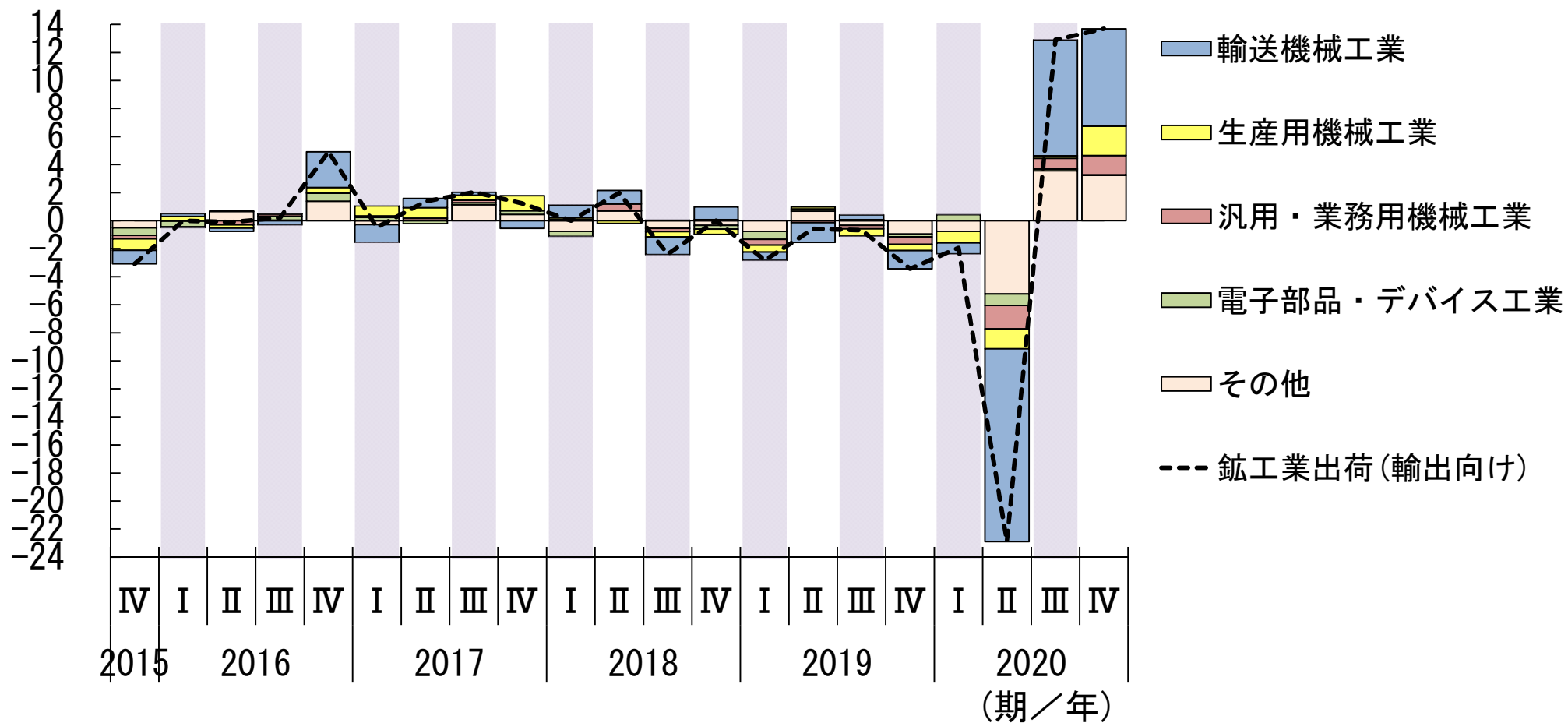


(注) 主要業種とは、国内向け出荷(ウエイト7896.12)のうち、ウエイトが大きい5業種を選定。
 具体的には、輸送機械工業(国内向け、ウエイト1193.18)、鉄鋼・非鉄金属工業(同、同786.21)、石油・石炭製品工業(同、同664.82)、化学工業(除. 医薬品)(同、同629.02)、電気・情報通信機械工業(同、同607.02)。

輸出向け出荷前期比 業種別の影響度合い

・ 2020年10-12月期の輸出向け出荷を、主要業種別にみると、輸送機械工業などが上昇。

(季節調整済、前期比、%、%ポイント)



(注) 主要業種とは、輸出向け出荷(ウエイト2103.88)のうち、ウエイトが大きい業種(上位4業種)を選定。
 具体的には、輸送機械工業(輸出向け、ウエイト678.22)、生産用機械工業(同、同270.38)、汎用・業務用機械工業(同、同218.87)、電子部品・デバイス工業(同、同186.86)の4業種。

2020年の鋳工業出荷内訳表の状況

出荷・国内向け出荷・輸出向け出荷

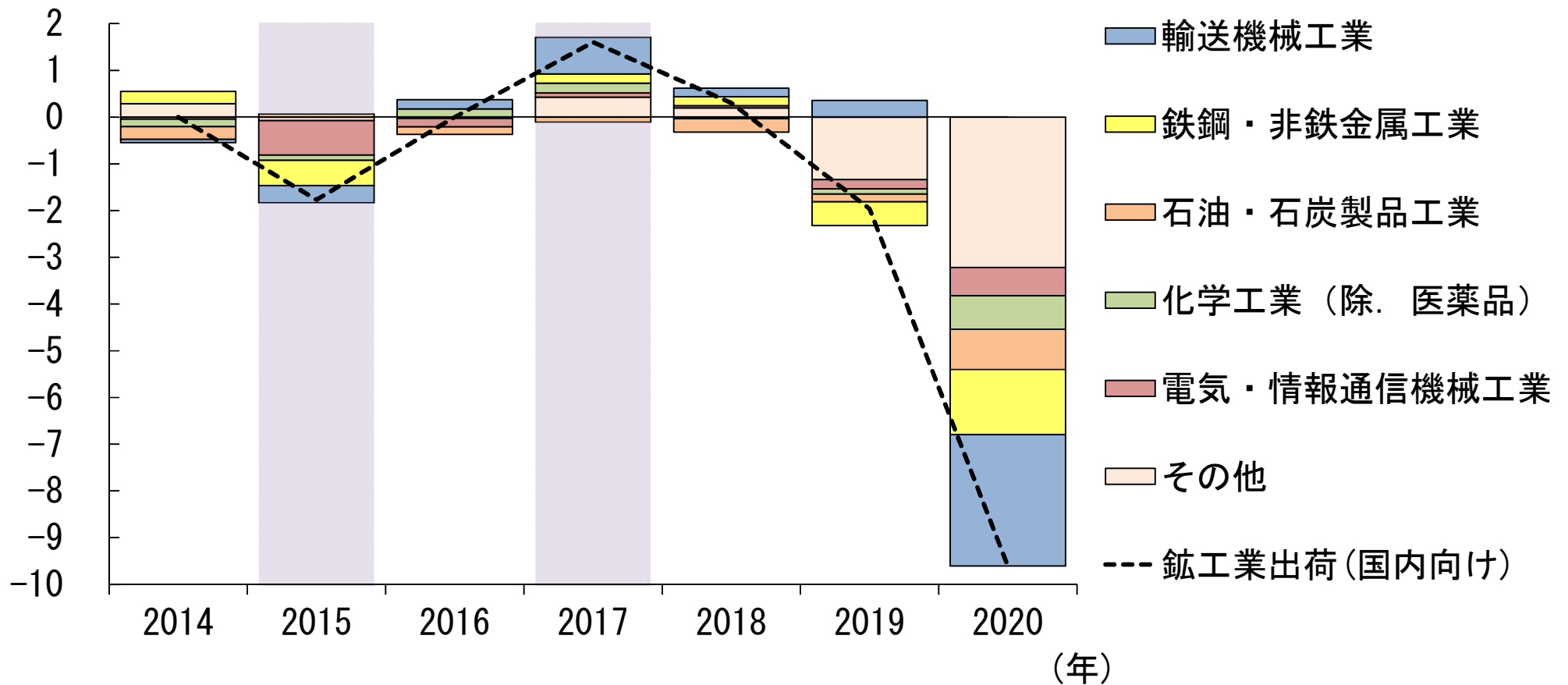
年次	出 荷	輸 出	国 内
原指数	89.7	87.5	90.3
前年比	-10.5%	-13.5%	-9.6%
指数水準	2015年基準最低水準 ①2020 89.7 ②2016 99.7 ③2015 100.0	2015年基準最低水準 ①2020 87.5 ②2013 96.3 ③2016 98.5	2015年基準最低水準 ①2020 90.3 ②2019 99.9 ③2015, 2016 100.0
前年比の動き	2年連続— (2019～当年)	2年連続— (2019～当年)	2年連続— (2019～当年)
前年比幅	2015年基準最低水準 ①2020 -10.5% ②2019 -2.7% ③2015 -1.4%	2015年基準最低水準 ①2020 -13.5% ②2019 -5.6% ③2016 -1.5%	2015年基準最低水準 ①2020 -9.6% ②2019 -2.0% ③2015 -1.8%

1) ①～③は2015年基準における最小値から下位3位までの数値

国内向け出荷前年比 業種別の影響度合い

・ 2020年の国内向け出荷を、主要業種別にみると、輸送機械工業などが低下。

(前年比、%、%ポイント)

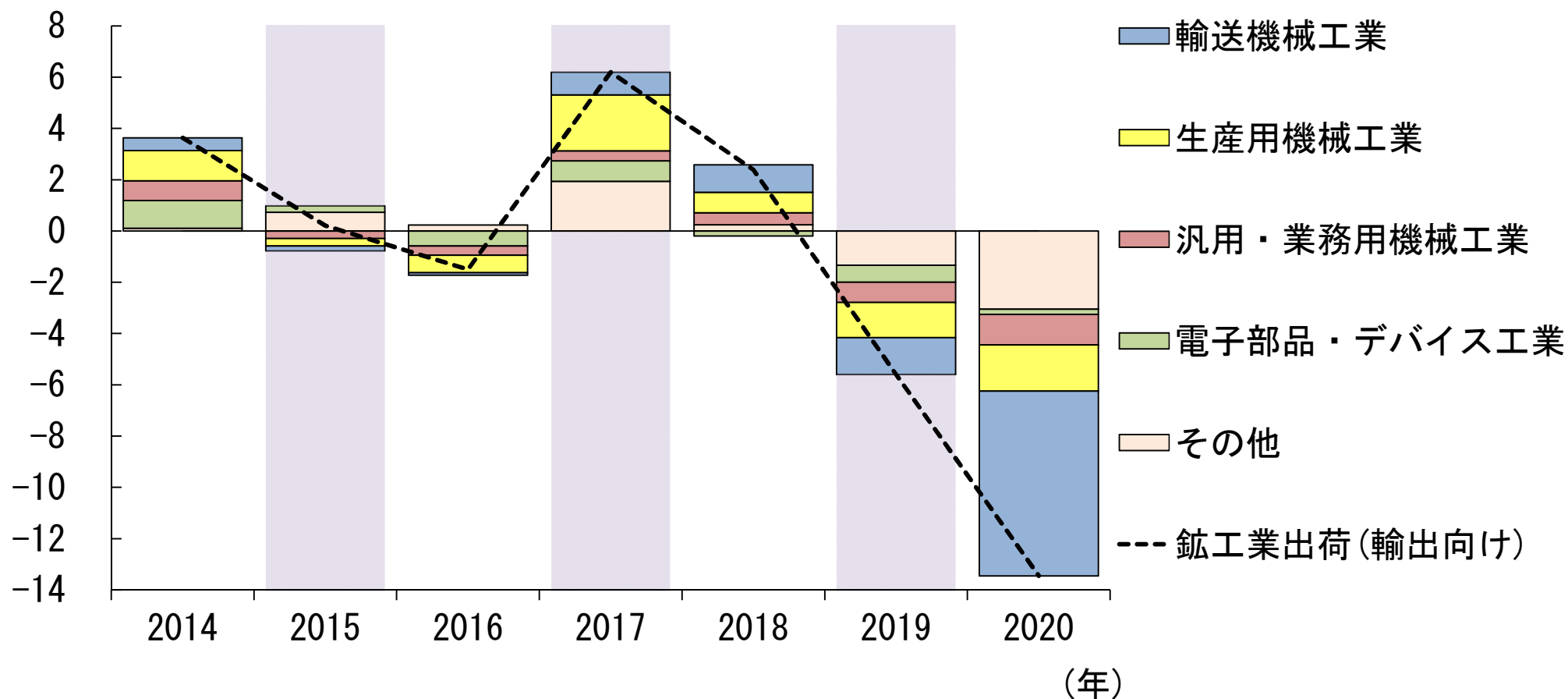


(注) 主要業種とは、国内向け出荷(ウエイト7896.12)のうち、ウエイトが大きい5業種を選定。
 具体的には、輸送機械工業(国内向け、ウエイト1193.18)、鉄鋼・非鉄金属工業(同、同786.21)、石油・石炭製品工業(同、同664.82)、化学工業(除. 医薬品)(同、同629.02)、電気・情報通信機械工業(同、同607.02)。

輸出向け出荷前年比 業種別の影響度合い

・ 2020年の輸出向け出荷を、主要業種別にみると、輸送機械工業などが低下。

(前年比、%、%ポイント)



(注) 主要業種とは、輸出向け出荷(ウエイト2103.88)のうち、ウエイトが大きい業種(上位4業種)を選定。
 具体的には、輸送機械工業(輸出向け、ウエイト678.22)、生産用機械工業(同、同270.38)、汎用・業務用機械工業(同、同218.87)、電子部品・デバイス工業(同、同186.86)の4業種。